

3. 未処理下水放流時等緊急時に考えられる河川における対策

対策内容	活用が考えられる施設・施策	対策概要	対象
取水施設をバイパス	流水保全水路	水質の悪い支川の水を本川に合流させず流下させ、上水取水地点を迂回。	—
代替水源に活用できるライフライン確保	都市水路の再生、創出	平常時には潤いある水辺空間を創出する都市水路を、災害時には消火用水や緊急的な生活用水として活用。	—
流出抑制、薬品処理	逆流防止水門	水門のある支川で水質事故が発生した際に、水門を閉じて流出を抑制し薬品処理。	化学物質
未処理下水の簡易浄化	河川浄化施設	高水敷や河床に設置した河川浄化施設により、未処理下水の大量に混ざった河川水を簡易浄化。	未処理下水
代替水源となる隣接河川の水質改善	清流ルネッサンスⅡ	下水道管理者、河川管理者等関係者が一体となって総合的、重点的に水質改善策を実施。	—

流水保全水路の事例(江戸川・坂川)

高水敷に新しい水路(流水保全水路)を設け、水質の悪い支川の水を本川に合流させず分離・流下し、下流の上水取水口等を迂回。



都市特有の未活用水源の有効活用の事例(渋谷川・古川)

東京都、港区、渋谷区、東京地下鉄株式会社では、都市環境再生のため、地下鉄トンネル内に発生する地下水を渋谷川・古川に放流中。

「都市水路の再生、創出」のため、地下構造物への浸出水、湧水、雨水貯留水、下水再生水などの都市特有の未活用水源の有効活用が注目されている。

